

2026年3月期 中間期 決算補足説明資料



2025年11月11日
品川リフラ株式会社

INDEX

1. 連結業績ハイライト
2. EBITDA・営業利益の増減要因
3. セグメント別売上高及びEBITDA
4. セグメント別概況 ①耐火物セクター
5. セグメント別概況 ②断熱材セクター
6. セグメント別概況 ③先端機材セクター
7. セグメント別概況 ④エンジニアリングセクター
8. 地域別の売上高
9. 2026年3月期の通期業績見通し
10. 2026年3月期通期 EBITDA・営業利益の増減要因見通し（対前年度）
11. トピックス（GREEN REFRACTORY）

1. 連結業績ハイライト

(単位：億円)

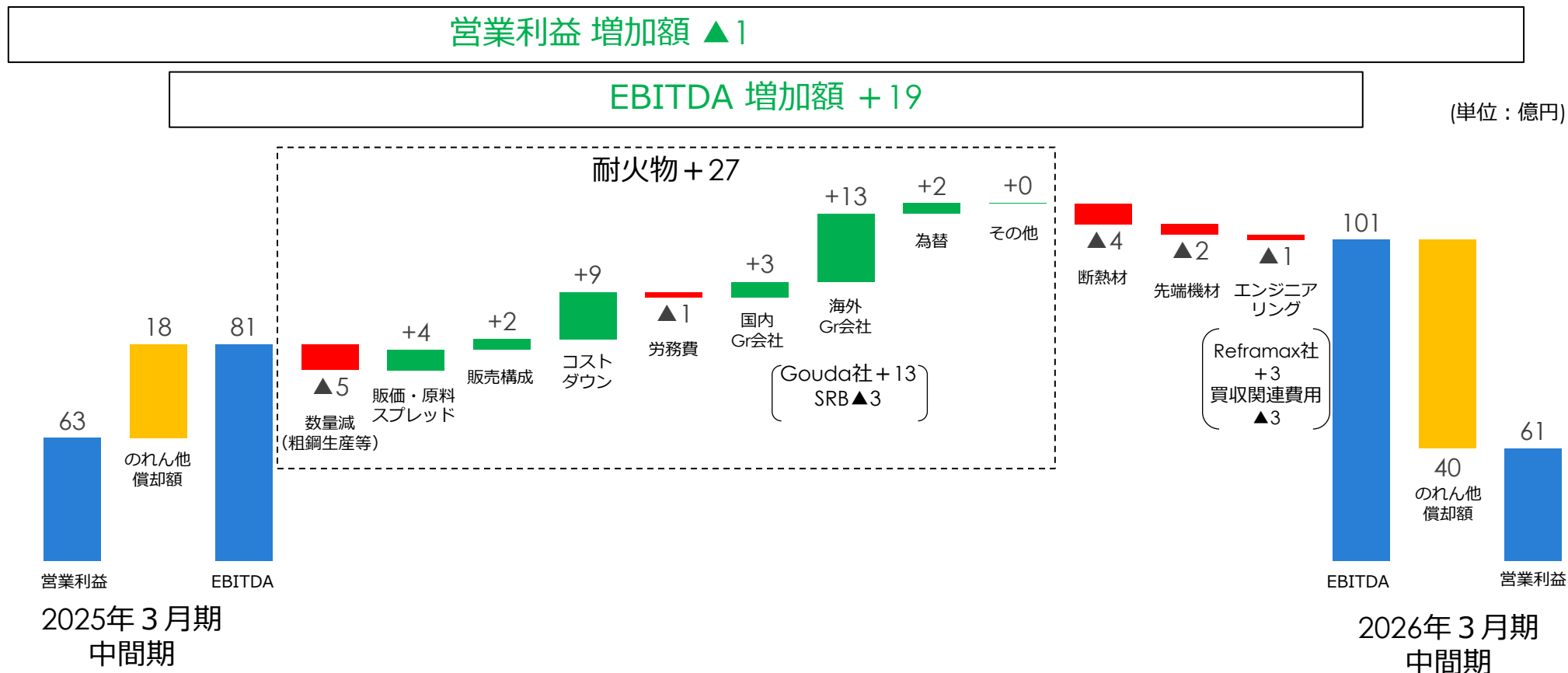
	2025年3月期 中間期 実績	2026年3月期 中間期 実績	前年同期比
売上高	682	818	+136 (+20.0%)
EBITDA	81	101	+19 (+24.2%)
営業利益	63	61	▲1 (▲2.5%)
経常利益	66	69	+2 (+3.7%)
親会社株主に帰属 する中間期純利益	49	43	▲5 (▲11.6%)
<指標> EBITDAマージン	12.0%	12.4%	+0.4pt
ROS（営業利益率）	9.3%	7.6%	▲1.7pt
ROIC	7.9%	5.4%	▲2.5pt
DEBT/EBITDA倍率	0.6倍	2.5倍	+1.9pt

注1：前年同期比は本表記上の数値ではなく、一の位までの実績値で計算しています。以下同様

注2：EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- 2026年3月期 中間期 国内粗鋼生産量は前年同期比4.2%減の4,008万トン。
- 売上高は、耐火物セクターにおいて国内粗鋼生産量の減少に加えて、海外においてもお客様の活動水準の低位継続と競合環境の激化により販売数量が減少。また、断熱材・先端機材セクターも需要環境の低迷により減収。一方で、新たに加わったオランダのGouda Refractories Group B.V.（以下、Gouda社）およびブラジルのReframax Engenharia Ltda.（以下、Reframax社）の業績が寄与したことにより、全体では大幅な増収を達成。
- 損益面では、Reframax社の買収に伴う一過性の関連費用（4億円）を計上したものの、コストダウン等によりEBITDAは大幅な増益を実現。一方、M&Aに伴うのれん償却額の増加に加え、新たに稼働した赤穂工場新プラントの設備投資による減価償却費の増加もあり営業利益は減益。しかし、為替差益により経常利益は増益を確保。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に対し多額の固定資産売却益がないことが減益要因となった。

2. EBITDA・営業利益の増減要因



- EBITDAは+19億円の増益を確保。耐火物セクターでは販売数量の減少があったが、コストダウン等に加え、海外グループ会社の業績も寄与し、増益。断熱材・先端機材セクターは需要環境の悪化により減益。エンジニアリングセクターは一過性の買収関連費用計上（3億円）等の増加があり減益。
- 営業利益は、のれん他償却額の増加により▲1億円の減益。

3. セグメント別売上高及びEBITDA

(単位：億円)

		2025年3月期 中間期 実績	2026年3月期 中間期 実績	前年同期比	
耐火物	売上高	453	529	+75	(+16.7%)
	EBITDA	47	74	+27	(+56.7%)
断熱材	売上高	92	86	▲6	(▲6.8%)
	EBITDA	20	15	▲4	(▲21.3%)
先端機材	売上高	21	19	▲2	(▲9.8%)
	EBITDA	2	▲0	▲2	(- %)
エンジニアリング	売上高	117	184	+67	(+57.5%)
	EBITDA	7	6	▲1	(▲13.8%)
その他（不動産）	売上高	4	4	+0	(+2.5%)
	EBITDA	3	3	+0	(+5.2%)
合計	売上高	682	818	+136	(+20.0%)
	EBITDA	81	101	+19	(+24.2%)

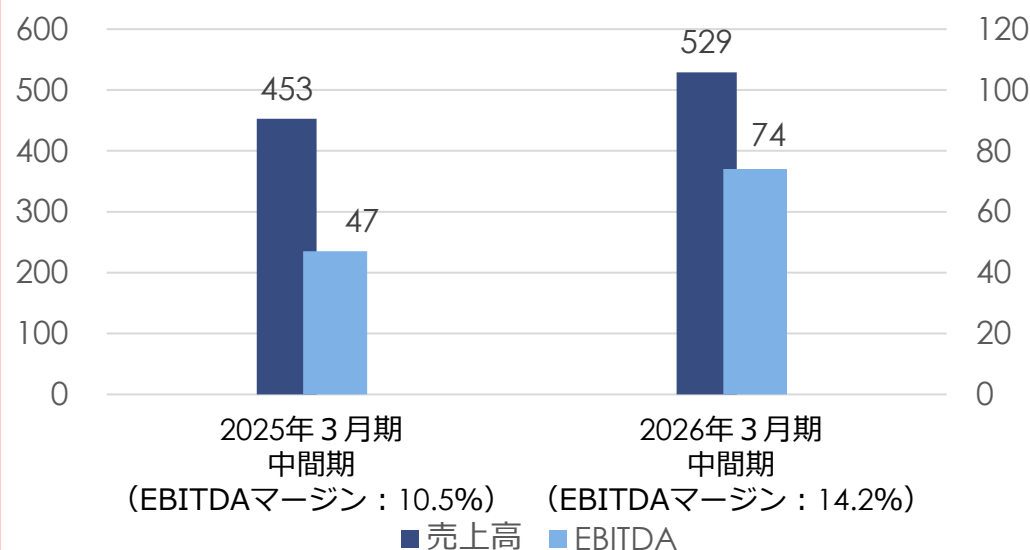
注：合計額には、セグメント利益の調整額が含まれています

4. セグメント別概況 ①耐火物セクター

業績推移

(単位：億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
売上高	453	529	+75	(+16.7%)
EBITDA	47	74	+27	(+56.7%)
営業利益	35	45	+9	(+26.7%)
EBITDAマージン	10.5%	14.2%	-	(+3.7Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

＜中間期業績について＞

- ▶国内粗鋼生産量の減少に加えて、海外においてもお客様の活動水準の低位継続と競合環境の激化により販売数量が減少
- ▶一方で、2024年10月に買収したGouda社の業績が通期で反映されることにより、増収を確保
- ▶Gouda社の業績寄与に加えて、価格設定の適正化、販売構成の改善、コストダウン等を進めたことにより、EBITDA・営業利益共に増益

＜今後の課題＞

- ▶生産プロセスの効率化および購買力の強化によるコストダウンの徹底
- ▶国内の非鉄・工業炉分野でのより一層のシェア拡大
- ▶カーボンニュートラルへの取組みの一環であるGREEN REFRACTORY※の市場への浸透
- ▶グローバルネットワークを駆使した拡販
- ▶新たなM&AやJV等の検討

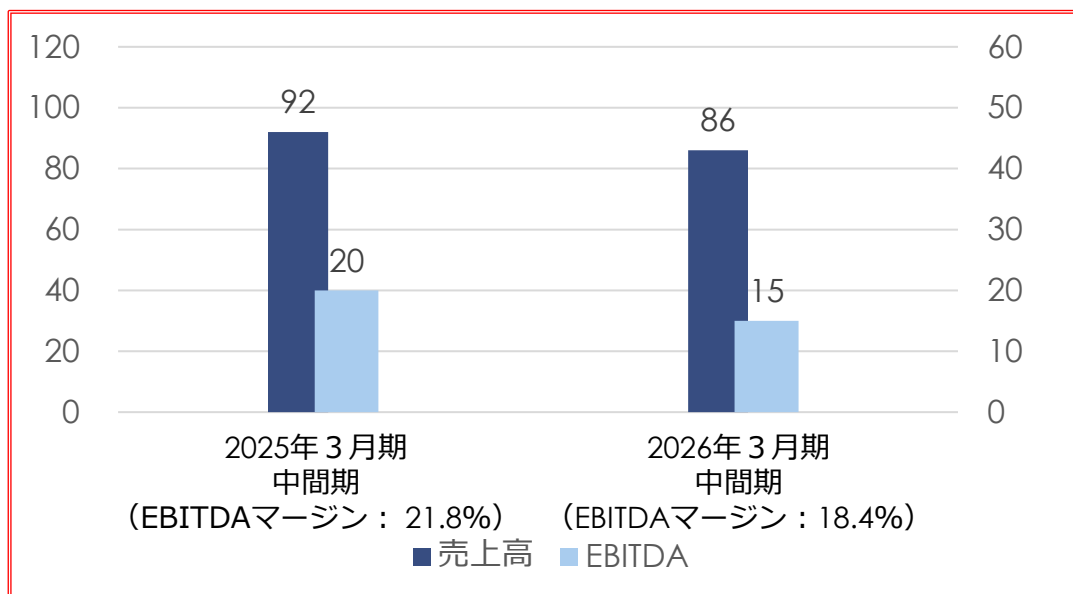
※ GREEN REFRACTORY：使用後耐火物などCO2排出量を実質ゼロと見做せる原料（グリーン原料）を20%以上活用した製品

5. セグメント別概況 ②断熱材セクター

業績推移

(単位：億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比
売上高	92	86	▲6 (▲6.8%)
EBITDA	20	15	▲4 (▲21.3%)
営業利益	16	11	▲4 (▲27.6%)
EBITDAマージン	21.8%	18.4%	－ (▲3.4Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

＜中間期業績について＞

- ▶ 国内外において受注案件の拡大に取り組んだものの、国内需要の低迷による断熱材販売数量の減少や、欧州および中国市場の需要減速に伴う海外グループ会社の業績悪化等により、減収・減益
- ▶ 下期は各種工事案件の増加により、通期業績は回復に向かう見通し

＜今後の課題＞

- ▶ 成長市場向けの製品開発強化および需要の捕捉（半導体製造装置関連製品・燃料電池用部材等）
- ▶ 建築向け防火用・耐火断熱ファイバーの拡販
- ▶ 超断熱製品（LTCシリーズ）の国内外市場への浸透
- ▶ 耐火物・断熱材セクターの協業による海外展開の加速（インド・中東および南米地域での鉄鋼・非鉄・石油化学プラント等への参入）

6. セグメント別概況 ③先端機材セクター

業績推移

(単位：億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
売上高	21	19	▲2	(▲9.8%)
EBITDA	2	▲0	▲2	(- %)
営業利益	1	▲0	▲2	(- %)
EBITDAマージン	11.2%	▲0.3%	-	(▲11.5Pt)

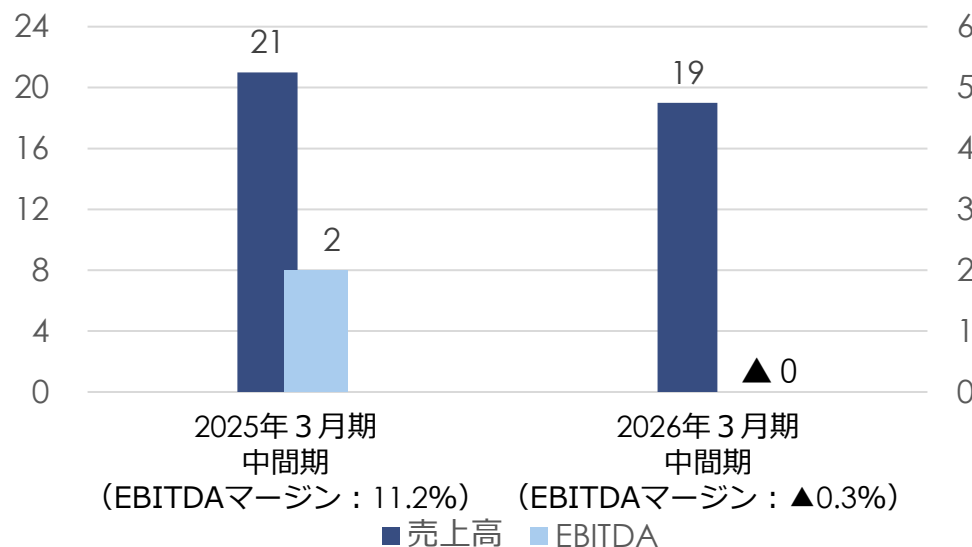
「業績レビュー」と「今後の課題」

＜中間期業績について＞

- ▶ ファインセラミックス製品の拡販を推進したものの、半導体製造装置関連製品において、需要の増加が未だ本格化していないことに加え、お客様の在庫調整の影響で販売数量が減少し、減収・減益

＜今後の課題＞

- ▶ 今後拡大が見込まれる半導体製造装置関連製品の需要の確実な捕捉
- ▶ 各分野向け耐摩耗部材の製品開発強化および拡販
- ▶ 無機塗料・無機接着剤製品の販売強化
- ▶ 半導体製造装置関連分野における事業領域の拡大
- ▶ 生産基盤の再構築および生産能力の向上に向けた新工場立上げ（2026年2月の稼働に向けて建設中）

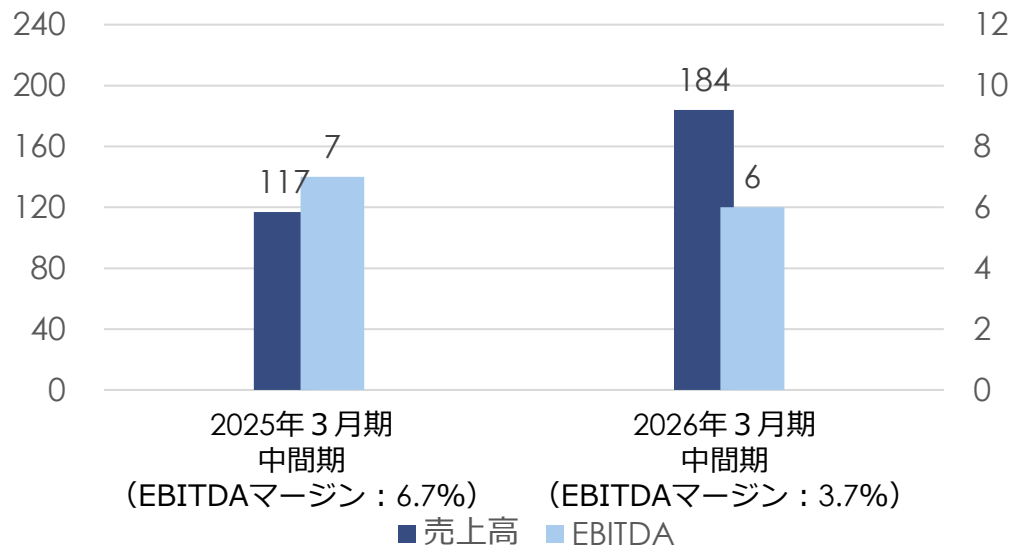


7. セグメント別概況 ④エンジニアリングセクター

業績推移

(単位：億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
売上高	117	184	+67	(+57.5%)
EBITDA	7	6	▲1	(▲13.8%)
営業利益	6	2	▲4	(▲70.6%)
EBITDAマージン	6.7%	3.7%	-	(▲3.0Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

<中間期業績について>

- ▶新たに当社グループに加わったReframax社の業績が7-9月期より寄与したことにより、増収
- ▶一方で、Reframax社の買収に伴う一過性の関連費用計上（4億円）により、減益。

<今後の課題>

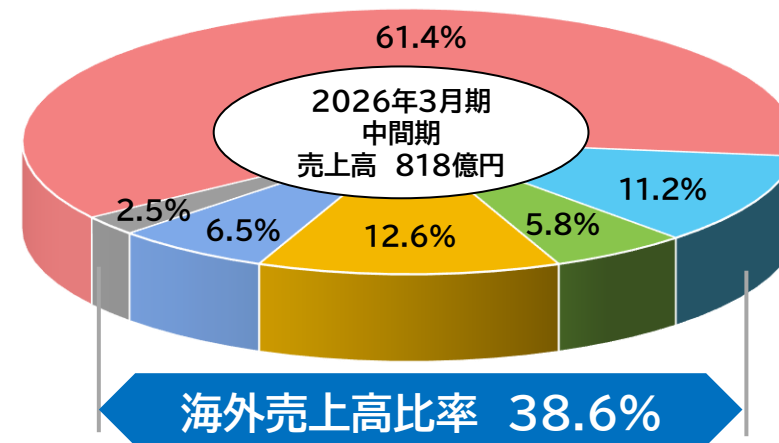
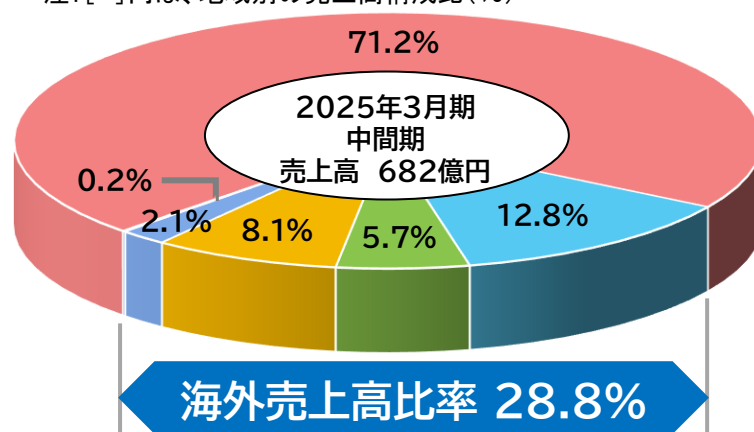
- ▶カーボンニュートラル建設工事案件（大型電気炉、カーボンリサイクル高炉）への確実な対応
- ▶大型建設炉案件（熱風炉改修等）の受注獲得
- ▶高度な技術を要する工業炉分野（カーボン焼成炉等）での受注拡大
- ▶新技術の導入による築炉作業等の負荷軽減および効率化（ドローン活用等）
- ▶Reframax社との技術連携によるエンジニアリング事業の強化・拡大

8. 地域別の売上高

(単位: 億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比
日本	485 [71.2]	502 [61.4]	+3.5%
アジア・オセアニア	87 [12.8]	91 [11.2]	+5.3%
北米	39 [5.7]	47 [5.8]	+20.9%
南米	55 [8.1]	103 [12.6]	+86.6%
欧州	14 [2.1]	53 [6.5]	+375.0%
その他海外	1 [0.2]	20 [2.5]	+1,852.5%
合 計	682 [100.0]	818 [100.0]	+20.0%

注: []内は、地域別の売上高構成比(%)



当中間期の海外売上高比率は前年同期比で9.8ポイント上昇し、39%となった。ブラジルのReframax社の7-9月期の業績が寄与したことで南米地域の売上高が増加し、さらにオランダのGouda社の業績が寄与したことで欧州およびその他海外地域も伸長。Reframax社およびGouda社の業績が年間を通じて寄与した場合、海外売上高比率は約45%に達する見込み。

9. 2026年3月期の通期業績見通し

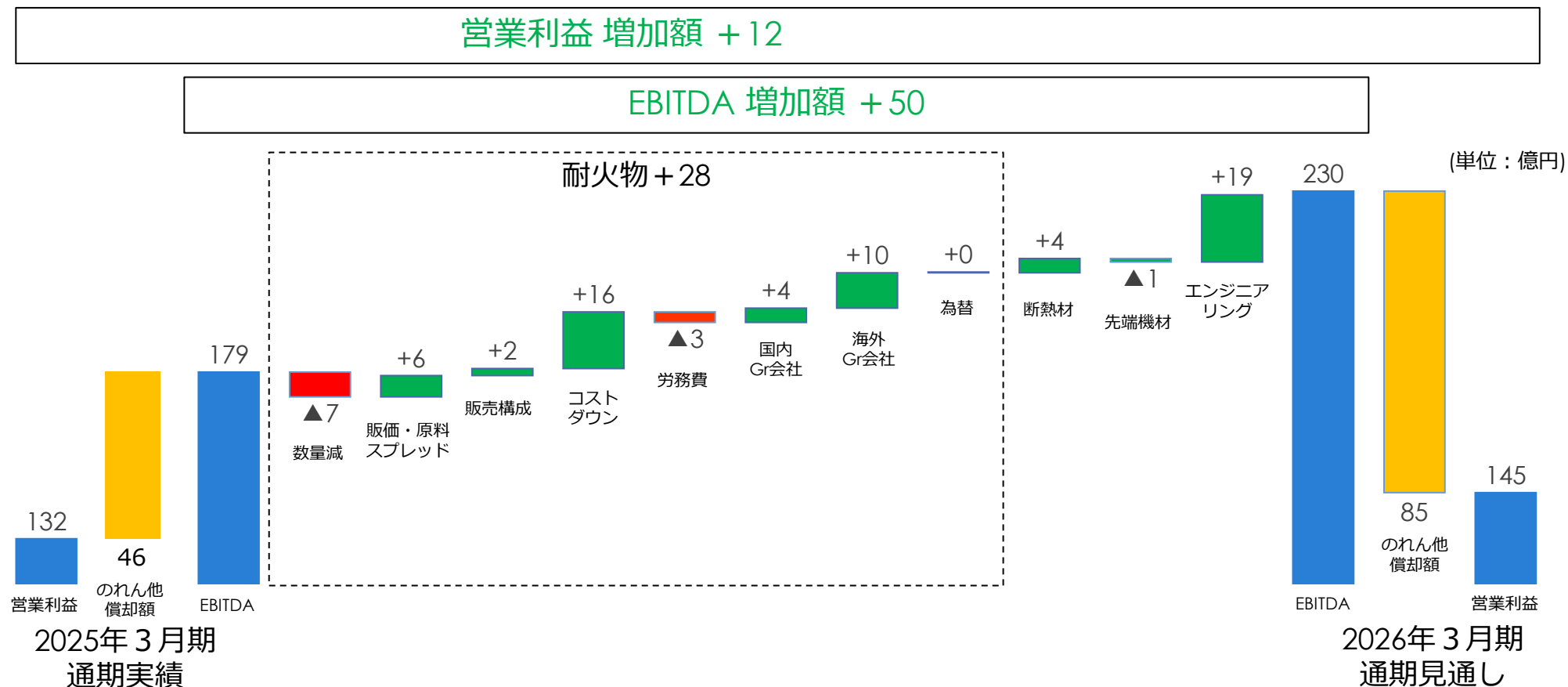
(単位：億円)

	2025年3月期 通期 実績	2026年3月期 通期 見通し (8/8公表)	2026年3月期 通期 見通し (11/11公表)	増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	売上高	1,440	1,760	+319	－
	EBITDA	179	230	+50	－
	営業利益	132	145	+12	－
	経常利益	136	145	+12	+4
	親会社株主に帰属 する当期純利益	97	85	+32	+45
<指標>	EBITDAマージン	12.5%	13.1%	+0.6pt	－ pt
	ROS（営業利益率）	9.2%	8.2%	▲1.0pt	－ pt

- ・ 前回公表値（8/8）に対し、為替差益の増加が見込まれることから、経常利益が増益の見通し。また、親会社株主に帰属する当期純利益については固定資産売却益を特別利益として計上する見込みとなったことから、増益の見通し。
- ・ 上述の要因により、通期業績見通しを上方修正。

注：「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに連結業績予想の修正及び個別業績見込みと前期実績との差異に関するお知らせ」については、11/11に公表

10. 2026年3月期通期 EBITDA・営業利益の増減要因見通し（対前年度）



国内の粗鋼生産および海外のお客様の活動水準等によるマイナス影響が予想されるが、コストダウンの徹底、セクター横断的なグローバルネットワークを駆使した拡販、Gouda社およびReframax社の業績が寄与すること等の見込みにより、EBITDAは+50億円の増益、営業利益はのれん他償却額を勘案して、+12億円の増益見通し。

11. トピックス (GREEN REFRACTORY)



GREEN REFRACTORY

GREEN REFRACTORYは、品川リフラが提供する、地球環境に配慮した耐火物製品や技術など、複数のソリューションを総称するブランドです。

SOLUTION 01

GREEN REFRACTORY

製造時のCO2排出量が実質的にゼロと見なせる
「グリーン原料」を20%以上活用した耐火物製品

Point

- ・ 製造時のCO2排出量削減、鉱物資源消費量の削減
- ・ お客様のゼロエミッションへの貢献
- ・ 原料の安定調達（地政学的な調達リスクの低減）

SOLUTION 02

熱ロス低減耐火物

お客様の高温プロセスにおける熱損失（熱ロス）を
低減する耐火物製品

Point

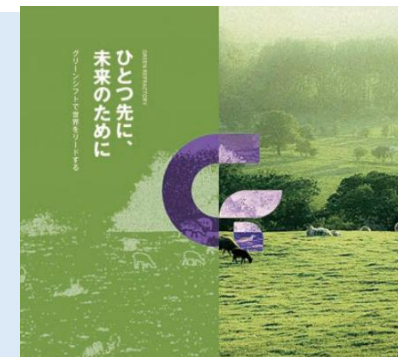
- ・ お客様の高温プロセスの効率化（乾燥工程、再加熱工程など）、エネルギー消費量の低減、CO2排出量の削減

■ GREEN REFRACTORYのブランドサイト

GREEN REFRACTORYの特設Webサイトを開設しております。是非下記のURLまたは二次元コードよりご覧ください。



<https://shinagawa-green.jp>



ご注意

本資料は、2026年3月期中間期決算（2025年4月～2025年9月）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2025年11月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。